開催内容（詳細）

Ⅰ．会　　場　　マリンメッセ福岡（約 4,000 ㎡使用）

①2018 伝統工芸ふれあい広場・福岡

②2018 全国くらしの工芸展・福岡

③第 21 回日本伝統工芸士会作品展

※原則として大まかなレイアウトは①→②→③の順路ですが、①、②は間仕切りをしないオープンな構成でも可。③は明確な間仕切り必要で出入り口を 1～２ケ所程度設置。

※※過去の実施の状況は大会 HP（　http://kougei-expo.com/）を参照

Ⅱ．会場構成

①2018 伝統工芸ふれあい広場・福岡（多目的展示室約 2,800 ㎡を予定）

1.　伝統的工芸品の製作体験指導／10 工芸品（予定、工芸品は調整中）

来場者が伝統的工芸品の製作を体験できるコーナー

- 小間の標準形は、1 工芸品あたり机 3 台と体験者用イス 6 脚及び講師用イス 2 脚で構成します。(6m 四方)。和紙の紙漉きや機織りなどのように別の専用機材を活用する場合はこの限りではありませんが、本見積書の作成につきましては、記載項目に沿って算出してください。

＊給排水を利用する場合がありますので、シンクの設置（2 ケ所程度）を予め記載しておいてください。

2.　伝統的工芸品の製作実演／10 工芸品（予定、工芸品は調整中）

来場者に伝統的工芸品製作工程の一部を披露するコーナー

- 小間の標準形は、原則として畳敷きタイプと机によるタイプで検討。

ただし、工芸品によっては床（パンチカーペット敷き）養生のみで机等使用しない場合もありますが、本見積書の作成につきましては、記載項目に沿って算出してください。

机タイプは、各小間につき、机 1 台と実演者及び助手用イス計 2 脚で構成します。

3.　特別展示コーナー／2 ブースを予定

イ）　「繭から生糸まで」 蚕の繭から生糸ができるまでの工程を展示紹介

ロ）　「漆ができるまで」 漆の樹液採取から漆が出来上がるまでの工程等を展示紹介

＊上記の展示品等は主催者が用意しますので、展示小間の設営案等をご提案下さい。標準形の小間サイズは見積書様式に記載してあります。

4.　都府県 PR　/伝統的工芸品 PR コーナー

イ）　都府県 PR コーナー（別紙参照：ポスター、パネル等で都府県観光情報等を紹介）

- 　本事業に対する負担金を予算化した自治体のみ紹介（32 都府県予定）
- パンフレットを用意しますので、設置台なども含めご提案ください。

ロ）　伝統的工芸品紹介コーナー

- 国指定の伝統的工芸品 230 品目を写真パネル等で紹介
- サイズ・仕様は掲示場所に応じて自由ですので、ご提案ください。
- 素材となる工芸品写真原稿等は提供します。

5.　テーブルコーディネートコーナー

６名のテーブルコーディネーターによる、日本人の暮らしのなかのテーブルコーディネートをそれぞれ紹介。

＊展示品は主催者が用意します。実際の展示の際はコーディネーターの要望等により若干変更される場合もありますが、本見積書の作成においては、通常の会議用テーブル等（クロス付）による設営を基本としてご提案ください。

６．　伝統工芸ステージ（約 130 ㎡を使用）

伝統工芸に関する特設ステージとして来場者が楽しめる様々なイベントを実施します。ステージ関係の設営・運営関係は原則として地元福岡県が行いますので、当協会の実施するイベント内容についてご提案があればお願いします。（特にご提案がなくても可です）

＊ステージの実施時間は福岡県半分、当協会分半分を予定。

7.　サイン関係等

- 会場内入り口タイトル看板　開催趣旨、主催者、後援名など掲載。
- 会場内に搬入時使用のダンボール箱等梱包用器材を収納する倉庫を数ケ所設置してください。

8.　その他　特別提案について

★開催会場の特性等を活かし以下の目的を参考に特別提案を提示してください。

・伝統的工芸品を身近に感じていただき、生活に取り入れていく契機となる大会とする。

・一過性の大会ではなく、持続的な取り組みにつながる大会とする。

・大会終了後も産地活性の取組みが継続することを目指す。

・大会を契機に業種や分野を超えて新たな交流が生まれることを目指す。

・「使い手」と「作り手」、「外国人」や「若者」など、今まで接点の薄かった方々と伝統的工芸品の距離を近づける大会とする。

※特別提案についてはすべてまたは一部を実施しない場合があります。

②全国くらしの工芸展（約 600 ㎡を予定）展示・販売コーナー

(60 工芸品 80 小間を予定)

伝統的工芸品を業種・品目別に展示し、販売します。レジは必要ありません。

- 1 小間の大きさ＝W1800×D900×H0～750　(高さは工芸品により変更)
- 展示台の高さは、企画のなかで自由に変更して構いません。
- 展示台天板の仕様も記載してください。
- 展示台高さが 750 ㎜のタイプは原則として対面販売とし、展示台内側に販売員用スペース 900 ㎜程度を確保。別の小間と後ろ合わせになる場合は間仕切りを設置してください。また、高さ 250 ㎜以下の展示台は、原則としてバックパネル付としてください。
- 高さ 750 ㎜タイプの展示台の下は空洞として在庫品等収納可能としてください。
  その場合、目隠しに必要な備品は追加してください。
  ※大型の空き箱、梱包材等を収納する倉庫を 2～3 ケ所設置してください。

上記展示台作成は、次の作品展も同様にお考えください。

③第 21 回日本伝統工芸士会作品展（約 600 ㎡を使用）

イ）作品展示コーナー（200 点の出品を予定）

経済産業大臣指定伝統的工芸品の優秀な技術者（職人）である伝統工芸士が精魂込めて製作した新作品を展示し、併せてコンクールを実施します。なお、コンクール審査に関する企画提案の必要はありません。

- 原則として展示台の下は空洞として在庫品等収納可能としてください。その場合の目隠しに必要な備品は追加してください。
- 空き箱、梱包材等を収納する倉庫を 2～3 ケ所設置してください。

ロ）伝統工芸ミニゼミナール（実施未定）

来場者を対象とした伝統工芸士(職人)によるミニゼミナール(講演会)を実施し、伝統技術の伝承の大切さをアピールします。

(40 名程度を対象行うスペースを確保。演台、マイク設備、イス等用意)

Ⅲ. 運営補助業務

①2018 伝統工芸ふれあい広場・福岡

・体験の準備、参加希望者の受付（体験参加費の受け取り、参加人数の記録など）

・体験コーナー内の整備

・出展者毎に 1 名を想定（20 人）

② **全国くらしの工芸展担当**（展示品の監視及び販売補助）　※販売は出展者が行う。

・自分の持場を常に巡回し、盗難がないか購入希望のお客様がいないか注意を払うこと。

・出展者（産地から出張してきている担当者）の補助。

・2 出展者毎に 1 名を想定（30 人）

③ **受付及び場内誘導・ふれあい広場・くらしのアテンド控室等担当**

・来場者への総合案内(質問への対応、パンフレツト手渡し等)、場内放送

・来場者アンケートの対応

・ふれあい広場・くらしの工芸展のお弁当配布（休憩室にてお弁当引き換え）

・5 人を想定

④ **繭から生糸まて・漆ができるまで・都府県紹介コーナー**

・繭から生糸まで・漆ができるまで　のアテンドの方が、休憩中に展示品の管理。

・都府県紹介コーナーのパンフレットの補充

Ⅳ．入　場　料　　無料（来場者数想定　3 日間　延べ 13 万人）

Ⅴ．設営・撤去等　設 営 日：10 月 30 日（火）～31 日（水）8：00～21：00

展示陳列：11 月 1 日（木）10：00～18：00（出展者が行う）

搬出日：11 月 4 日（日）16:00～18:00

撤去日：11 月 4 日（日）19:00～21:00

11 月 5 日（月）8:00～18:00